

第7次佐世保市総合計画における本市の将来像（将来のイメージ）（案）

NO	キャッチフレーズ	意味・由来
1	未来へ発信！ よか都市(まち)SASEBO創生プラン ～ ダイバーシティで連携・協働 ～	<p>このキャッチフレーズは、連携中枢都市である佐世保市を、圏域全体で「よか都市(まち)」にしようとの想いで考案したものです。</p> <p>中核市としての佐世保市は、従来から周辺12市町と海や県境を越えて連携し、市民の暮らしに関わるさまざまな課題に互いに力を合わせ取り組んできました。</p> <p>そのような中、次期総合計画の策定にあたっては、佐世保市の魅力の一つである「多様性を受け入れる風土」を活かし、圏域他都市のけん引役としてその連携を深めるとともに、圏域市民の協働を推進し、地域力あふれる「よか都市(まち)」を創生するためのプラットフォームを構築し、未来へ受け継いでいこうという決意をこのフレーズに込めました。</p> <p>また、サブフレーズに掲げたダイバーシティ（多様性）とは、連携・協働を推進するために今後ますます重要となるキーワードであり、多様なひと・まち・しごとを生み出す魅力的なシティ（CITY）となるように、という願いも込めています。</p>
2	海風 薫る “キラっ都”SASEBO ～ 歴史生き継ぐ彩都が 世界へはばたく ～	<p>日本本土最西端の地である西都・佐世保。</p> <p>本市発展の礎となった「佐世保鎮守府開庁」、「佐世保港開港」から130年を超え、本市は今まさに新時代へ進もうとしています。</p> <p>市民が育ててきた”寛容性”と”多様性”を地域の誇りとしながら、異文化理解や英語教育によるグローバルな人材育成、海外クルーズ客船の寄港など、世界に目を向けた事業を積極的に展開していく。</p> <p>そして、世界中にきらめく感動を広げたい。</p> <p>海風薫る日本の最西端・佐世保が、国際都市”SASEBO”として、世界を彩り豊かに変えていきます。</p>
3	トランスフォーム中です。 安・美・謝S SASEBO (ambitious)	<p>日本のはしっこ・佐世保が、世界のSASEBOになるために、変身（トランスフォーム）中。</p> <p>この総合計画を読めば、その秘密がわかります。</p> <p>安：安心、安全 美：美しい自然 謝：異文化、異地域を受け入れる寛容性（感謝の心を持っている）</p> <p>佐世保が、大きな飛躍を胸に抱いて、新しいことに大胆に取り組もうとする気持ち（ambitious）をあらわしています。</p>